

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水源の森を育てる地域間交流事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合 (木曾広域交流事業基幹委員会) (事務局: 木曾広域連合地域振興課 0264-23-1050)
事業区分	(6) ウ 森林づくりと林業の振興 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,215,924 円 (うち支援金: 808,000 円)

事業内容

木曾広域交流事業基幹委員会を構成する団体により、森林整備推進や地域間交流に関わる以下の11事業を実施した。

ア: 木曾川下流域における森林整備啓発 (1事業)

木曾川と堀川・上下流を繋ぐ交流会

イ: 木曾地域における交流受入れの推進 (8事業)

高蔵寺ニュータウンウォーク、高蔵寺きてみん祭、

馬ヶ城浄水場一般開放、JA 夏休みこども村、

春日井まつり、南知多町産業まつり、

高蔵寺ニュータウン冬休み木工ワークショップ、

高蔵寺ニュータウン春休み木工ワークショップ

ウ: 大都市圏での情報発信 (2事業)

成城学園祭、木と住まいの大博覧会



【箸づくり体験の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

年間を通じて各地で11事業を実施し、以下の実績を得た。

アでは他団体と協力して上下流住民参加の交流会を開催し101名が参加した。また、木曾地域の林業と縁のある場所の見学などを通じて、参加者に森林整備の重要性を周知する事が出来た。

イでは来年度のツアー受け入れに向けて、春日井市を中心とした自治体や民間団体で行われた8事業に参加し、木曾地域のPRや啓発活動を行う事が出来た。

ウでは長野県と連携を図り、首都圏で行われた2事業に参加し木曾産材の伝統工芸品の展示や木工製品の販売を通じて、多くの方に木曾産材をPRする事が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

アについては、今後も他団体と協力し上下流相互の住民交流を通じて、多くの方に森林整備の必要性と水源涵養の重要性を周知し、将来に渡って森林整備に協力いただける方の獲得に繋げていきたい。イについては春日井市を中心として啓発・PR活動を行い、木曾地域について周知が出来た。次年度は実際に木曾の水源を訪れていただく体験ツアーを計画している。ウについては長野県と連携を図り、首都圏での木曾産材の展示や販売を通じて木曾産材のPRを図る事が出来た。今後も経済効果を検証しながら木曾産材の利用拡大に向けて取り組みたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

①木曾川下流域において森林整備に対する理解を深めてもらう。

②首都圏において木工品の販売や、伝統工芸品の展示を通して、PRを行い木材消費の機会を増やし、地域経済の活性化を目指す。

※自己評価【 B 】

【理由】

①では、下流域の自治体や民間団体のイベントに参加し、多くの方に森林整備の啓発を行う事が出来た。

②では、長野県と連携し首都圏でのイベントに参加し、多くの方に木曾産材のPRや情報発信を行う事が出来た。

(別記様式第12号) (第3の8関係)